

平成 26 年度
岩手県国際リニアコライダー推進協議会
事業報告書

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

- (1) 啓発・普及事業
 - － ア 公開講演会等
 - － イ 学生向け講演会
 - － ウ その他講演会等(後援・協力等)
- (2) 調査・研究事業 (先進地視察等)
- (3) 要望、提言活動等
- (4) 東北 ILC 推進協議会との連携
- (5) 岩手県政策地域部科学 ILC 推進室との連携
- (6) 会議等
- (7) 国際会議等への協力 (共催負担金、カンファレンスバックの提供)
- (8) 盛岡商工会議所「ILC 実現検討会議・委員会」による提言の取りまとめ
- (9) 広報関係
- (10) 会員加入状況 (平成 27 年 3 月 31 日現在)



(1) 啓発・普及事業／ア 公開講演会等

① 県民集会（参加者 約 600 名）

平成 26 年 6 月 26 日（木）13:15～ 於：岩手県民会館（中ホール）

「宇宙の始まりに素粒子で迫る」

東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 機構長 村山 斉 氏

「ILC の社会的役割」

東京大学素粒子物理国際研究センター センター長 駒宮 幸男 氏

「ILC の現状と未来に向けて」

東京大学素粒子物理国際研究センター 准教授 山下 了 氏

【県民決議】国際リニアコライダー（ILC）実現に向けて

・講演会開催後、玉山副会長が決議文を朗読し、満場一致で採択された。

【ILC 実現に向けた懇談会】17:30～ 於：ホテル東日本盛岡

目的：岩手県の産学官民の一体感の醸成を図る。

参加者：地元選出国會議員、岩手県、市町村長、岩手県議会、市町村議会議長
大学関係者、行政関係者、推進協議会会員等（約 100 名）

内容：谷村会長あいさつ・千葉県議会議長来賓あいさつ

谷藤岩手県市長会会長乾杯後・懇談



② 先端加速器科学技術推進シンポジウム 2014 in 東北（参加者 約 800 名）

平成 26 年 8 月 23 日（土）13:30～ 於：奥州市文化会館（大ホール）

「国際リニアコライダー（ILC）が目指すもの」

高エネルギー加速器研究機構 機構長 鈴木 厚人 氏

「人口減少時代と ILC への期待」

日本創生会議 座長 増田 寛也 氏

「国際リニアコライダー（ILC）実現への道」

東京大学素粒子物理国際研究センター 准教授 山下 了 氏

③国際リニアコライダー（ILC）講演会 in 北上（参加者 約 200 名）

平成 26 年 8 月 24 日（日）10:30～ 於：日本現代詩歌文学館講堂（北上市）

「国際リニアコライダー（ILC）実現への道」

東京大学素粒子物理国際研究センター 准教授 山下 了 氏

④国際リニアコライダー（ILC）講演会（参加者 約 100 名）

平成 26 年 12 月 11 日（木） 於：ホテルメトロポリタン盛岡 NW

「ILC 実現に向けた状況と今後の活動について」

東京大学素粒子物理国際研究センター 准教授 山下 了 氏

（1）啓発・普及事業 / イ 学生向け講演会

①「ドイツ マインツ大学 齋藤 武彦 教授」による巡回特別授業

平成 26 年 5 月 17 日（土）～5 月 24 日（土）

盛岡市、奥州市、一関市、大槌町、釜石市、山田町、野田村、久慈市、陸前高田市、住田町の小・中・高校 12 講座

②「宇宙の始まりに素粒子で迫る」（小・中学生向け講演会）（後援）

平成 26 年 7 月 19 日（土）13:30～／於：盛岡劇場

主催：岩手日報社・ワオ・コーポレーション

講師：東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 機構長 村山 斉 氏

③「ドイツ マインツ大学 齋藤 武彦 教授」による巡回特別授業

平成 26 年 11 月 22 日（土）～11 月 29 日（土）

盛岡市、奥州市、北上市、大槌町、久慈市、陸前高田市、住田町の小・中・高校、住民講座等 16 講座



(1) 啓発・普及事業 /ウ その他講演会等 (後援・協力等)

①「第1回加速器科学連続セミナー『オープニングシンポジウム』」

平成26年4月23日(水) 15:00～/於: 岩手大学テクノホール/主催: 岩手大学
「ILCの全体像と人材育成や新産業創成」 岩手大学 客員教授 吉岡 正和 氏
「東北放射光構想の概要と放射光利用の可能性」 東北大学 教授 濱 広幸 氏

②「第2回加速器科学連続セミナー『工学・生命科学分野での放射光科学の活用』」

平成26年5月30日(金) 15:00～/於: 岩手大学銀河ホール/主催: 岩手大学
「工学・生命科学分野での放射光科学の活用」 岩手大学 客員教授 廣沢 一郎 氏
「放射光研究を開始した経緯や研究内容について」 岩手大学教員4名

③「第3回加速器科学連続セミナー『加速器科学による新産業創成』」

平成26年6月23日(月) 15:00～/於: 岩手大学銀河ホール/主催: 岩手大学
「加速器科学による新産業創成」 岩手大学 客員教授 吉岡 正和 氏
「加速器関連施設建設に伴うまちづくり」
東北大学キャンパスデザイン室 小貫 勅子 氏
「岩手大学における加速器科学研究」 岩手大学工学部 教授 成田 晋也 氏

④岩手県工業技術センター公開デー「ILC 展示紹介コーナー」への協力

平成26年10月4日(土)
内容: 1回30分、計6回、高エネルギー加速器研究機構(KEK) 広報室の藤本順平さん、ILC推進準備室の高橋理佳さんが ILC や加速器、素粒子について解説。来場した親子連れらが話を聞いて理解を深めた。



⑤第34回地域産学官と技術士との合同セミナー「輝くいわての未来を考える」(後援)

平成26年10月17日(金) 於: ホテルニューカーリーナ/主催: (公社) 日本技術士会
【基調講演】「地域創生に向けた岩手大学の取り組み」
岩手大学 学長 堺 茂樹 氏
【パネルディスカッション】「復興・自立・未来創造」

⑥「いわて復興塾（第10回）」（講師）

平成26年10月25日（土）13:30～

於：岩手大学銀河ホール／主催：（一社）いわて復興塾
「一日も早い ILC の実現に向けて～未来に向けてグローバル都市の実現をめざそう～」
講師：岩手県 ILC 推進協議会 会長 谷村 邦久

⑦「ILC 講演会 in 仙台」

『宇宙創成の謎に迫る国際リニアコライダー（ILC）計画とまちづくり』（後援）

平成26年10月28日（火）13:30～／主催：東北 ILC 推進協議会

「宇宙誕生の謎に迫る国際リニアコライダー（ILC）計画」

東北大学 大学院理学研究科 教授 山本 均 氏

「世界に学ぶ国際都市、これからのまちづくり」

中央大学 理工学部人間総合理工学科 教授 石川 幹子 氏

「東北における加速器関連産業の育成・集積」

東北経済連合会 常務理事 高玉 昌一 氏

⑧第1回『加速器関連産業参入セミナー』（後援）

平成26年10月28日（火）14:30～

於：マリオス／主催：（公財）いわて産業振興センター・岩手県
「加速器製造に関わる要素技術の分析及び県内企業の加速器産業への
参入可能性調査事業 中間報告」

（公財）いわて産業振興センター 科学技術コーディネーター 大森 健一 氏

「ILC 超伝導加速空洞の開発状況と今後の展開」

高エネルギー加速器研究機構 機械工学センター長 教授 山中 将 氏

「ILC クライオモジュールの開発状況と今後の展開」

高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設 教授 早野 仁司 氏

⑨「第4回加速器科学連続セミナー『加速器科学の医療応用』」

平成26年10月29日（水）14:40～

於：岩手医科大学 矢巾キャンパス／主催：岩手大学 岩手医科大学
「国際リニアコライダーと東北放射光施設」

岩手大学 工学部 教授 成田 晋也 氏

「岩手医科大学サイクロトロンセンターにおける高エネルギー粒子の多分野への応用」

岩手医科大学 教授・サイクロトロンセンター長 世良 耕一郎 氏

「筑波大陽子線治療と BNCT（ホウ素中性子捕捉療法）」

筑波大学 教授・筑波大学附属病院院長 松村 明 氏

⑩「第5回加速器科学連続セミナー『ILC と表面技術』」

平成26年11月21日（金）15:00～

於：岩手大学銀河ホール／主催：岩手大学、岩手表面技術懇話会
「超伝導加速空洞製造の取組み」

高エネルギー加速器研究機構 機械工学センター長 山中 将 氏

「超伝導加速空洞の表面処理」

高エネルギー加速器研究機構 放射線科学センター 沢辺 元明 氏

⑪「東北の未来を切り拓く国際リニアコライダー (ILC) 講演会」(後援)

平成 26 年 11 月 22 日 (土) 13:00～/於：一関市文化センター/主催：一関市

「宇宙の始まりに素粒子で迫る」

東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 機構長 村山 斉 氏

【座談会】「ILC 実現と地域の未来」

村山 斉・山本 均 (東北大学大学院理学研究科教授)・勝部 修 (一関市長)

⑫国際リニアコライダー (ILC) 市民講演会 (後援)

平成 27 年 1 月 25 日 (日) 14:00～/於：盛岡劇場/主催：盛岡市

「子どもから大人まで 宇宙の謎にのぞむ」

高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 講師 藤本 順平 氏

【対談】「宇宙はなにからできているの？国際リニアコライダーってなんだろう？」

藤本 順平 氏・神山 浩樹 氏 (IBC 岩手放送アナウンサー・気象予報士)

⑬盛岡商工会議所『創立 90 周年記念事業』

平成 27 年 2 月 2 日 (月) 14:15～17:15/於：盛岡グランドホテル

【基調講演】「地方から日本再生 ～人口減少時代への対応～」

日本創生会議座長 増田 寛也 氏

【パネルディスカッション】

西谷岩手大学学長代行、中村岩手県立大学学長、小川岩手医科大学理事・学長、
谷村会頭

内容：ILC の実現、人材育成と産学連携、東日本大震災からの復興

⑭第 2 回『加速器関連産業参入セミナー』(後援)

平成 27 年 2 月 16 日 (月) 14:30～

於：ホテル東日本/主催：(公財) いわて産業振興センター・岩手県

「ILC 関連 CFS (土木・施設工事) の現状と課題」

高エネルギー加速器研究機構 特別技術専門職 宮原 正信 氏

「ILC 全体準備状況」

高エネルギー加速器研究機構

先端加速器推進部・リニアコライダー計画推進室室長・特別教授 山本 明 氏

「加速器製造に関わる要素技術の分析及び

県内企業の加速器産業への参入可能性調査事業報告」

(公財) いわて産業振興センター 科学・技術コーディネーター 大森 健一 氏

⑮第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム

「ILC 誘致と新たな国際学術研究ゾーンを考える」(後援)

平成27年3月15日(日)14:30~/主催:東北ILC推進協議会

【基調講演】

「ILC 誘致と世界に学ぶ国際都市、これからのまちづくり」

講師:石川 幹子 氏(中央大学 理工学部 人間総合理工学科教授)

【パネルディスカッション】

「ILC 誘致と新たな国際学術研究ゾーンを考える」

- ・コーディネーター 東北大学・岩手大学 客員教授 吉岡 正和 氏
- ・パネリスト 東京大学素粒子物理国際研究センター 山下 了 氏
(株)有沢製作所 専務取締役 三輪 卓 氏
東北大学キャンパスデザイナー 小貫 勅子 氏
岩手県海外情報発信専門員 Amanda Krips 氏

(2) 調査・研究事業(先進地視察等)

①高エネルギー加速器研究機構アウトソーシング状況ヒヤリング

平成26年6月20日(金)

- ・機構業務に関連する取引企業の発注・入札状況について
参加者:猿川事務局長、盛岡商工会議所職員2名

②日本学術会議主催「ILC フォーラム」

平成26年6月23日(月)/於:日本学術会議会館(東京都)/参加者:猿川事務局長

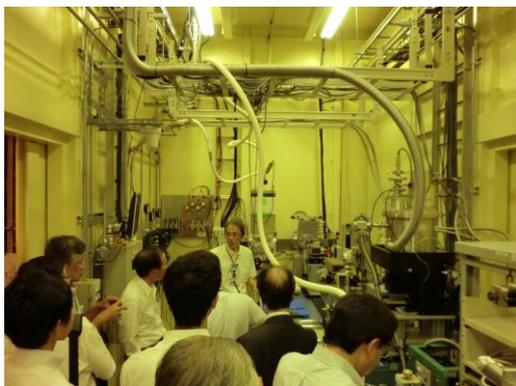
③SPring-8・播磨科学公園都市視察会(主催)

平成26年7月25日(金)~26日(土)/参加者:29名

7/25 SPring-8、SACLA(XFEL)見学

7/26 播磨科学公園都市見学

オプトピア~都市内巡回(安藤忠雄氏設計の小中学校・県立西播磨総合リハビリテーションセンター・県立粒子線医療センターなど)~先端科学技術センター~ひょうご環境体験館



④高エネルギー加速器研究機構 産業視察会（主催）

平成 26 年 9 月 9 日（火）／参加者：約 40 名

見学施設：空洞製造施設（CFF）・超伝導リニアック試験施設（STF）
先端加速器試験施設（ATF）



⑤東北 ILC 推進協議会視察会（第 5 回）

平成 26 年 10 月 1 日（水）～2 日（木）／参加者：猿川事務局長

- ・産業技術総合研究所 サイエンス・スクエアつくば
- ・高エネルギー加速器研究機構（KEK）

⑥東北 ILC 推進協議会視察会（第 6 回）

平成 26 年 11 月 12 日（水）／参加者：事務局

- ・東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター
- ・理化学研究所テラヘルツ光研究グループ

(3) 要望、提言活動等

①守本憲弘 東北経済産業局長との面談

平成 26 年 4 月 2 日（水）／於：仙台合庁

谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

②増田寛也 日本創生会議座長・山下 了先生との面談

平成 26 年 4 月 30 日（水）／於：北大路銀座茶寮（東京都）

谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

③北川慎介中小企業庁長官、吉野恭司産業政策技術政策課長との面談

平成 26 年 4 月 30 日（水）／於：中小企業庁長官室

谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

④ドイツ マインツ大学 教授 齊藤 武彦 氏との面談

平成 26 年 5 月 19 日（月）／於：ホテルメトロポリタン盛岡 NW

千葉副知事、谷村会長、齊藤理事、廣田専務理事、猿川事務局長ほか

⑤村山先生・駒宮先生・山下先生との昼食懇談

平成 26 年 5 月 19 日（月）／於：ホテルメトロポリタン盛岡 NW
千葉副知事、谷村会長、玉山副会長、大平副部長、廣田専務理事、猿川事務局長

⑥岩手大学 塚 茂樹 学長ほか幹部との ILC 実現に向けた懇談会

平成 26 年 6 月 27 日（金）／於：ホテルメトロポリタン盛岡・本館
谷村会長、玉山副会長、齋藤理事、廣田専務理事、猿川事務局長

⑦ILC 実現に関する県民決議要望

平成 26 年 7 月 1 日（火）／於：自民党本部、議員会館事務所、文部科学省
谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟 河村建夫会長、鈴木俊一副会長、
小坂憲次副会長、塩谷 立幹事長、大島理森自民党復興加速化本部長
高橋ひなこ衆議院議員、西村明宏衆議院議員、文部科学省

⑧自由民主党 石破 茂 幹事長来盛に伴う ILC 要望

平成 26 年 7 月 5 日（火）／於：ホテル東日本／玉山副会長、猿川事務局長

⑨東北六県商工会議所連合会総会時における ILC 実現に向けた発表

平成 26 年 7 月 8 日（火）／於：ホテル観洋（気仙沼市）／玉山副会長
東北への加速器の集積と ILC 実現による東北の産業競争力向上と国際化の進展について、
岩手県商工会議所連合会を代表して玉山副会長が約 10 分間、発表した。

⑩岩手大学 塚 茂樹 学長訪問

平成 26 年 7 月 8 日（火）／於：岩手大学／玉山副会長、猿川事務局長ほか

⑪岩手県立大学 中村 慶久 学長訪問

平成 26 年 7 月 15 日（火）／於：岩手県立大学／玉山副会長、猿川事務局長ほか

⑫東北六県商工会議所連合会要望

平成 26 年 7 月 17 日（木）／於：文部科学省、経済産業省ほか／谷村会長、廣田専務理事

⑬地元選出国會議員への ILC 実現に関する県民決議要望

平成 26 年 7 月 17 日（木）／於：衆議院・参議院議員会館事務所／猿川事務局長

⑭東北放射光施設推進協議会設立総会・記念シンポジウム

平成 26 年 7 月 18 日（金）／於：ホテルメトロポリタン仙台
廣田専務理事、猿川事務局長

⑮岩手県立大学 高前田理事長 訪問

平成 26 年 7 月 31 日（火）／於：岩手県立大学／廣田専務理事

⑯増田寛也 日本創生会議座長との面談

平成 26 年 8 月 1 日（金）／於：ホテルメトロポリタン盛岡 NW
谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

⑰自由民主党 大島 理森 復興加速化本部長来盛に伴う ILC 要望

平成 26 年 9 月 8 日（月）／於：ホテルメトロポリタン盛岡・本館
谷村会長、廣田専務理事、猿川事務局長

⑱地元 3 大学学長との懇談会

平成 26 年 9 月 9 日（火）／於：ホテルメトロポリタン盛岡 NW
谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

⑲地元選出国會議員に対する要望（岩手県商工会議所連合会）

平成 26 年 9 月 16 日（火）／於：衆議院第 1 議員会館会議室
谷村会長、玉山副会長他各商工会議所会頭、廣田専務理事、猿川事務局長

⑳文部科学省、復興庁、中小企業庁に対する要望（岩手県商工会議所連合会）

平成 26 年 9 月 17 日（火）／於：各省庁会議室
谷村会長、玉山副会長他各商工会議所会頭、廣田専務理事、猿川事務局長

㉑河村建夫リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟会長との面談

平成 26 年 9 月 21 日（日）／於：北上シティプラザホテル
谷村会長、玉山副会長、猿川事務局長

㉒守本憲弘 東北経済産業局長との面談

平成 26 年 10 月 3 日（金）／於：仙台合庁
谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

㉓河村議連会長ほか自民党東北 6 県連会長、公明党、文科省、中小企業庁等に対する要望（盛岡商工会議所）

平成 26 年 11 月 4 日（火）～5 日／於：衆・参議院議員会館ほか
谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

㉔東京大学：駒宮先生、山下先生との情報交換懇談会（盛岡商工会議所）

平成 26 年 11 月 4 日（火）／於：北大路赤坂茶寮
谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

㉕地元選出国會議員に対する要望（盛岡商工会議所）

平成 26 年 11 月 11 日（火）／於：衆・参議員会館／猿川事務局長

②⑥文部科学省、復興庁、中小企業庁に対する要望（岩手県商工会議所連合会）

平成 26 年 12 月 12 日（金）／於：各省庁会議室

谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

②⑦東北六県商工会議所連合会会長会議における谷村会長発表（岩手県商工会議所連合会）

平成 27 年 1 月 15 日（木）／於：東京：パレスホテル／谷村会長、廣田専務理事

(4) 東北 ILC 推進協議会との連携

①東北 ILC 推進協議会総会

平成 26 年 4 月 22 日（火）／於：仙台ウェスティンホテル

谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

②東北 ILC 推進協議会要望

平成 26 年 5 月 27 日（火）／於：文部科学省、河村 ILC 議連会長ほか

谷村会長、猿川事務局長

③広報戦略分科会（第 1 回）

平成 26 年 6 月 25 日（水）／於：セントレ東北会議室／猿川事務局長

④広報戦略分科会（第 2 回）

平成 26 年 8 月 22 日（金）／於：セントレ東北会議室／事務局

⑤広報戦略分科会（第 3 回）

平成 27 年 1 月 28 日（金）／於：セントレ東北会議室／事務局

(5) 岩手県政策地域部科学 ILC 推進室との連携

毎月 1 回、相互の活動状況の確認と今後の活動計画について意見交換を実施。

(6) 会議等

①幹事会 平成 26 年 5 月 19 日（月）／於：盛岡商工会議所

- ・役員会提出議題について

②役員会 平成 26 年 6 月 9 日（月）／於：ホテルメトロポリタン盛岡 NW

- ・平成 25 年度事業報告並びに収支決算について
- ・平成 26 年度事業計画並びに収支予算について
- ・役員改選について
- ・県民集会決議（案）について

③幹事会 平成 26 年 11 月 13 日（木）／於：盛岡商工会議所
・役員会提出議題について

④役員会 平成 26 年 12 月 11 日（木）／於：ホテルメトロポリタン盛岡NW
・平成 26 年度の活動状況と今後の活動について
・平成 26 年度予算の執行状況について

(7) 国際会議等への協力（共催負担金・カンファレンスバックの提供）

①Posipol2014（実施主体：岩手大学）

平成 26 年 8 月 27 日（水）～29 日（金）／参加者：34 名
主会場：一関市立図書館 会議室

②MDI-CFS 会議（実施主体：東北大学）

平成 26 年 9 月 4 日（木）～6 日（土）／参加者：32 名
主会場：一関市立図書館 会議室

③ILD 会議（実施主体：東北大学）

平成 26 年 9 月 6 日（土）～9 日（火）／参加者：約 80 名
主会場：水沢グランドホテル、プラザイン水沢

④CERN-KEK 委員会 北上サイト視察への対応

平成 26 年 11 月 20 日（木）／於：プラザイン水沢
対応者：玉山副会長、猿川事務局長

⑤LCC 視察レセプションの開催

平成 27 年 1 月 13 日（火）／於：一関市「世嬉の一」

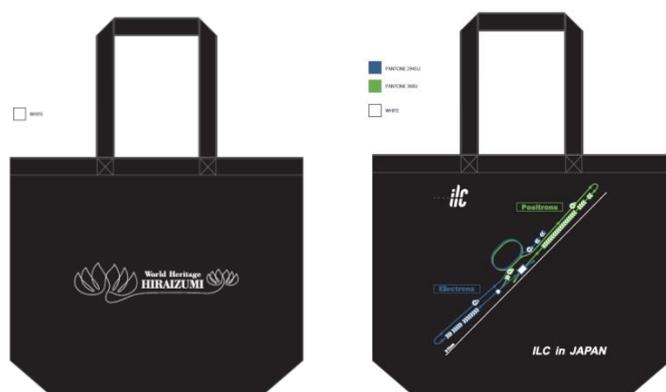
LCC：リン・エバンス氏、ハリー・ウィーツ氏、マキシム・フロネク氏、

マイク・ハリソン氏、スティナー・スティプネス氏、ブライアン・フォスター氏

吉岡正和先生、山本明先生ほか

関係者：達増知事、勝部一関市長、小沢奥州市長ほか

対応者：谷村会長、玉山副会長、猿川事務局長



カンファレンスバック
170 枚提供

提言にあたって

岩手県内各地では、東日本大震災津波からの復興をめざして懸命に取り組まれているところではありますが、現状から見た岩手の将来は、人口減少により 2040 年（平成 52 年）には数多くの自治体の存続が危ぶまれるとの推計もあります。

一方、東北各県においては加速器関連プロジェクトが計画されており、その中心となる日本初の大型国際プロジェクトとして ILC が実現すれば、我が国が標榜する「科学技術創造立国」の大きな柱となり、岩手県が世界最先端の加速器研究拠点として明るい未来を切り拓くことができます。

盛岡商工会議所は、2013 年（平成 25 年）12 月 25 日、ILC 建設実現にむけた課題について県都盛岡市として必要な各種調査・研究等を行うことを目的として ILC 実現検討会議を設置しました。

県都盛岡市として ILC 実現にむけどのような役割を果たしていくべきか、盛岡商工会議所の 8 つの常設委員会が中心となり民間の発想とスピード感を持って可能な限り多くの課題について検討を加え、めざすべき地方都市の姿の一つをまとめました。

本提言は、ILC の実現をめざし盛岡市、岩手県の未来の創造にむけて「まちづくり・産業育成・国際化」などの観点からまとめたものでありますが、今後、行政、大学、関係団体との連携を強め「真のグローバル都市形成」にむけ、さらに調査・研究を進め、一日も早い ILC の実現をめざしてまいります。

2014 年（平成 26 年）9 月 24 日

盛岡商工会議所 ILC 実現検討会議 議長
盛岡商工会議所 会頭
谷村 邦久

提言書



2014年(平成26年)9月24日

盛岡商工会議所
ILC 実現検討会議

未来にむけてグローバル都市の実現をめざそう !!

～世界から集まってくる人々が笑顔あふれる暮らしをおくられるように、
世界に岩手・盛岡らしさを発信していこう～

I 関係機関との連携にむけて

提言1 行政・大学・研究機関・産業界からなるオールいわての推進

(総務政策委員会)

ILC は世界にただ一つ建設される基礎科学の研究拠点であり、真の国際拠点となる。ILC は岩手のみならず東北全体の復興ひいては日本の再生にもつながる国際プロジェクトであることから、オールいわての体制が整備され、東北一丸およびオールジャパンへと気運を醸成させるかが重要であり、そのために私どもは ILC を実現することの意義を行政・大学・研究機関・産業界がよく理解し、それぞれが有する資源・機能を有効に活用、連携できるように本提言を推進してまいりたい。

II まちづくりにむけて

提言2 未来にむけたグローバル都市～暮らしやすいまちづくりと知の拠点～をめざして

(まちづくり委員会)

「豊かな自然環境」「地域の文化・まち並み」と融合したまちづくりをめざし、研究者らが安心して生活できるような住環境や、国際コンベンションを開催するための施設・体制等を整備するとともに、自然・歴史・文化・食材等を満喫できる多様なアクティビティを提供する都市の整備を進める。また、産学官連携による新産業創出等を促進し、持続的に成長する「知の拠点機能」を持つ都市づくりを行う。

提言3 再生可能エネルギーを利用した環境にやさしいまちづくり

(環境問題特別委員会)

「環境にやさしいまち」をめざし再生可能エネルギーを利用したまちづくりを推進する。化石燃料エネルギーから再生可能エネルギーへの代替を進め、地域内で資源が循環する「エネルギーの地産地消」を促進するとともに、東日本大震災津波のような災害に左右されない自立したエネルギー体系の確立したまちづくりを推進する。

III 外国人対応にむけて

提言4 自然と科学が織りなす国際的な歴史・文化都市「MORIOKA」へ

(観光国際委員会)

外国人が安心して生活できるような「国際都市 MORIOKA」をめざす。そのため「来訪者を導く」「来訪者を案内する」ことを念頭に盛岡市内に掲示されるサイン類の見直し、WiFi 設備の充実、

ボランティアガイドの育成などを行う。さらに、「国際都市 MORIOKA」を世界にアピールするための新たなイメージづくりを行う。

提言5 外国人研究者が研究に専念できる生活環境と家族がなじめる地域づくり

(税制問題特別委員会)

外国人研究者とその家族が安心して快適な暮らしをおくることができるよう、居住・生活全般・医療・教育・交通等各分野の環境整備に取り組む。

また、ILC を国際的な地域社会を創造する大きな機会ととらえ、身近な文化交流を経て将来の「国際交流都市」への発展をめざし、次代を担う若者や子供を中心とした様々な国際交流を推進する。

IV 企業の参入にむけて

提言6 国家戦略特区構想に関連した生活基盤の確立と地元企業の参入にむけて

(中小企業振興委員会)

国家戦略特区申請を念頭におきながら、外国人研究者の金融取引にかかわる信用保証への対応、国内未認可医薬品への対応、外国人子弟の教育体制の拡充など外国人研究者等の生活全般の利便性を向上させる。

研究施設等のアウトソーシング業務について、研究施設等と地元企業双方向の各種の情報交換を行い、地元企業主体の研究会を組織するなど地元企業の受注を進める環境づくりを行う。

研究開発分野における研究者のニーズと地元企業の技術のマッチングを目的とする情報統合ポータルサイトの新設、見本市等の開催により地元企業の参入機会の拡大を促進する。

提言7 意欲ある地元企業が参入するための仕組みづくりと加速器関連産業の集積にむけて

(産業育成特別委員会)

ILC の建設や運用に伴う業務に地元企業が参入することは、地元企業の技術力や信用力を高め、地域に新たな雇用や産業を生み出すきっかけとなるほか、加速器関連産業が集積することは、次世代の新技术や新産業の土台を作り、高い成長力につながるものである。

そのためには、地元企業が参入できる分野や可能性、障壁等を把握し、参入機会を検討・拡大するとともに、企業誘致のための環境整備や誘致企業のニーズに応えられるような産学官の連携と人材の高度化を進めていく。

V 広報戦略にむけて

提言8 ILC のブランド化と世界にむけた岩手ブランドの魅力発信

(盛岡ブランド創出特別委員会)

岩手県民が ILC と地域のかかわりを深く知り、将来を担う子どもたちに夢と希望を与える ILC のブランド化にむけた活動を展開する。ILC について積極的に学ぶことができるよう体験型学習施設等を利用した ILC の情報発信拠点を設ける。ILC の実現を契機に岩手・盛岡の魅力とおもてなしの精神を全世界に発信する。

盛岡商工会議所 ILC 実現検討会議委員

[委員]

(議長)

氏 名	盛岡商工会議所役職
谷 村 邦 久	会 頭
玉 山 哲	副会頭
斎 藤 雅 博	副会頭
小 暮 信 人	副会頭
高 橋 三 男	副会頭
廣 田 淳	専務理事
浅 沼 新	総務政策委員会・委員長
熊 谷 祐 三	中小企業振興委員会・委員長
川 村 宗 生	観光国際委員会・委員長
佐 藤 利 久	まちづくり委員会・委員長
岩 根 修 象	税制問題特別委員会・委員長
佐 藤 善 通	環境問題特別委員会・委員長
林 晶 子	盛岡ブランド創出特別委員会・委員長
竹 中 陽 一	産業育成特別委員会・委員長

[専門委員]

氏 名	所 属 ・ 役 職
大 平 尚	岩手県政策地域部副部長兼政策推進室長
谷 藤 裕 明	盛岡市長
黒 澤 芳 明	(地独)岩手県工業技術センター 副理事長
吉 田 拓	(公財)いわて産業振興センター 常務理事兼事務局長
堺 茂 樹	岩手大学 学長
中 村 慶 久	岩手県立大学 学長
小 川 彰	岩手医科大学 理事長・学長

(9) 広報関係

①協議会 HP のリニューアル (H26.6) および英語版の作成・公開 (H26.10)



②リーフレットの作成・配布 (日本語版・英語版/岩手県との共同作成)



③ILC 応援ポロシャツの作成

協議会取りまとめ分...約 100 枚/岩手県・一関市・奥州市...約 600 枚



④ILC 建設実現 PR 年賀状の作成・販売

作成枚数 28,000 枚 (完売) / 岩手県印刷工業組合・盛岡広域振興局との共同事業



⑤「ドイツ マインツ大学 斎藤 武彦 教授」による巡回特別授業に係るグッズの提供

11/22～11/29 の間に行われた盛岡市、奥州市、北上市、大槌町、久慈市、陸前高田市、住田町の小・中・高校、住民講座等 15 講座の際に、聴講者へのプレゼントとして標準理論クリアファイル 1,200 枚を提供した。

⑥「いわて銀河プラザ」での PR 活動に係るグッズの提供

11/27～11/29「岩手前沢牛&前沢区物産フェア」の首都圏開催に合わせて、岩手県科学 ILC 推進室で会場内に ILC の PR ブースを設置するにあたり、活動促進の一助として標準理論クリアファイル 300 枚を提供した。



⑦第 3 回国連防災会議世界会議（仙台）に係る英語版リーフレットの提供

3/14～3/18 開催された標記会議において、岩手県が震災関連ブースを出展し、ILC についても PR する機会を得たことから、外国人向け PR 用に英語版リーフレット 5,000 部を提供した。

⑧広報用のぼり・ミニのぼりの作成・配布

盛岡広域振興局と共同で ILC 広報用ポスター（1000 枚）・のぼり（100 枚）とミニのぼり（500 枚）を作成し、法人会員・関係機関等に配布した。



⑨ILC 啓発コミックの増刷・配布

若年者への ILC 啓発を目的に岩手県が企画・作成したコミックを増刷（10,000 部）し、会員および関係機関等に配布した。

※⑧⑨に係る支出・配送については年度をまたがっている。



(10) 会員加入状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

法人・団体会員 435 会員／個人会員 82 会員 合計 517 会員